

あれ……？

どうなっただんだ
オレ……

ユウナレスカと
戦って……

それから……

うっ

なんか股間に
刺激が……

くちゅゅ

くちゅゅ

ユウナ!?

何してるっすか!?



あっ

目が覚め
ました？

最後に
あなたと♡

やることやって
おきたいなって♡

アタ



嬉しいっすけど…

こころいんと
してる場合じゃ…

それに最後って
どういうことっすか？

私……

あなたを究極召喚の
祈り子に決めたの

だからお互いに
死ぬ前に……

ね



死ぬ



どうかな？

こういの
初めてだけどっ♡

うまひ
どきどきNO.~

ハッ♡

ハッ

ハッ

ハッ

究極召喚……！

そうだ……

オレたちは
ユウナレスカに
敗れて……！！

お前!

ユウナじや
ないな!

オレたちはそいつを
捨てたはずだ!

ユウナに
化けやがつて...!

くそ...

身体が
動かないっ...

魔



気がつかないければ
幸せであれたのに……

ニィ……

いえ……それでこそ
究極召喚に
相応しい絆です

ですが
この身体は

紛れもなく
召喚士ユウナのものの

巫女



死ぬ前に恋人と
繋がる幸福を
噛みしめなさい♡

私も千年ぶりの
若い肉体を十分に
味わうとします♡

願

お前…!!

ユウナレスカかつ!

ユウナの
身体を返せ!

ハッ

ハッ

弱



あ、
何が
不満なの？

私は
嬉しい♡

だって
あなたの♡

ん、
私を想って硬く
なってるんだよね♡

弱

あ、



……っ！

やめろ……！

ユウナの真似
すんじやねえ……！

ハッ

ハッ

んっ

お気に入り♡

召しませんでしたか？

あ、私なりにあなたを♡

あ、

ハッ

ハッ

気遣ったのですが♡

あ、



ああ♡

でも身体の
方はっ♡

喜んだ
ようですね♡

あの^{セイオン}人の
様♡

一層硬く
なっ♡

いい所に
当たります♡

んあ♡

射精して
ください♡

恋人の中心♡

んあ♡





うっ……!!

ユウナ……!!

いめん……!!

ハッ

ハッ



ああ♡

感じます♡

ああなたの
熱い精を♡

ん

ん

思い出します♡

ゼイオン^夫の
モノを♡

この身体も
悦んで♡



ああ♡

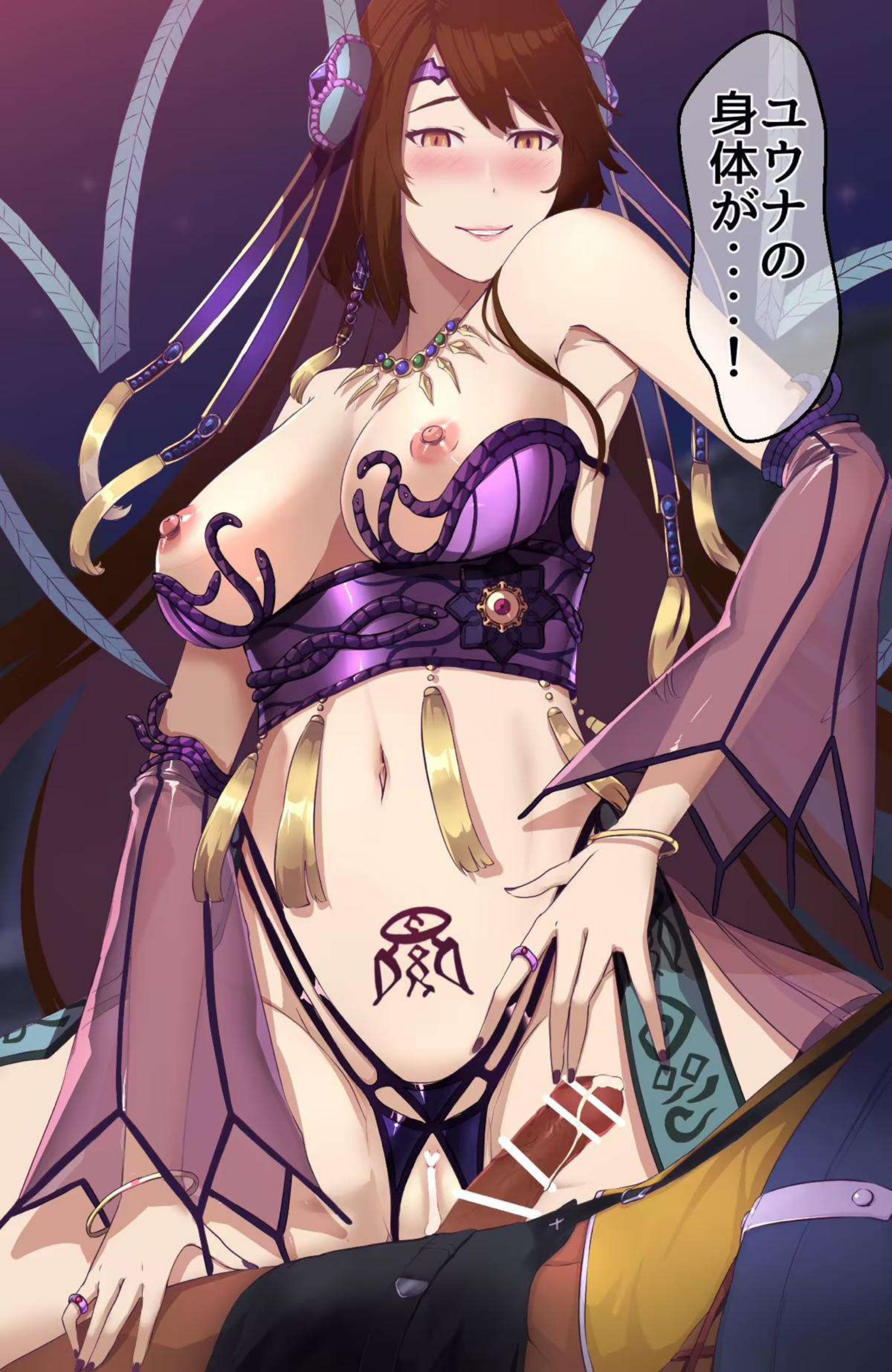
馴染む♡

馴染んで
いきます♡

身も心も♡

ハの子と
一緒に♡

ユウナの
身体が……!!



想い人と肌を
重ねる幸福を

その同調によって
彼女の魂を完全に
取り込みました

光幻虫により
姿もこのように……

ですが
まだ足りません

願

もう一度

私の中に射精
してください

おはよう





こんな
ことして...

なにが
目的だ...



究極召喚の
祈り子にすると

言った
はずですよ

扇

呼吸

そのために♡

召喚士と
祈り子となる
者の間に♡

絆が
必要です♡

あなたと
この身体との
絆は十分♡


あとは私があなたを
どう思うか♡

心と身体は
相互に作用します♡

この身体で
肌を重ねるほど♡

私はあなたに
ゼイオニを重ね♡

特別を
覚える♡



あな達は
希望になるのです♡

何度『ミニ』が
復活しようとも♡

その度に打倒した
歴史が♡

次のナギ節を
待つのための♡

悲しい定めを
諦めて受け入れる
力になる♡

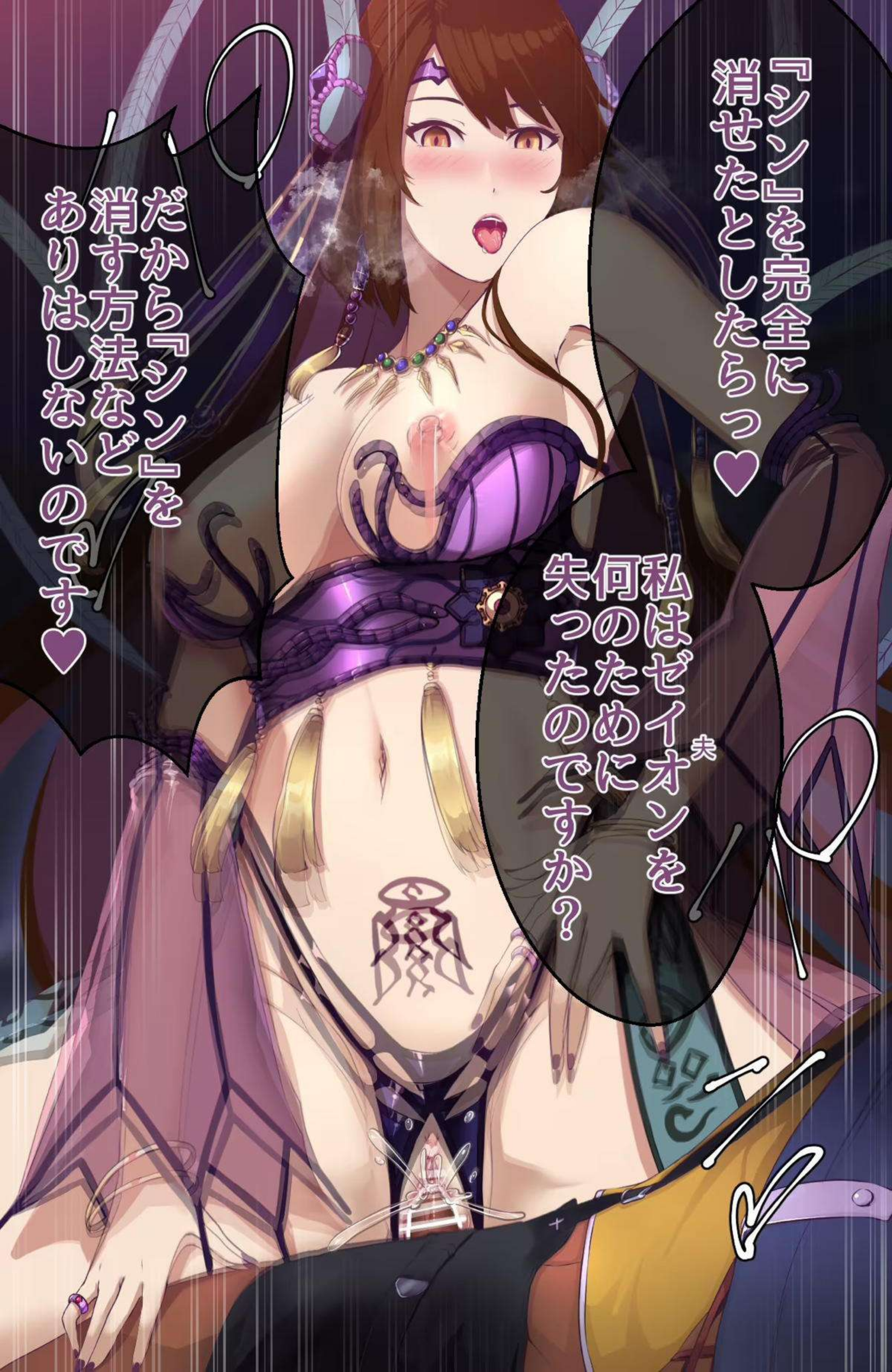
そんなんじや
何も変わらない…

無駄死に
じゃないか…

「シン」を完全に
消せたとしたらっ♡

私^夫はゼイオンを
何のため
矢つたの
たのため
ですか？

だから「シン」を
消す方法など
ありません
のっ♡





諦めて受け
入れなさい♡

現実を♡

この快樂も♡

そうすれば
楽になります♡

私の様に全ての
悲しみを忘れるのです♡

さあ♡
射精して♡

互いの悲しみを
和らげましよう♡

射精して♡

アイゼイオー
ーダッ♡



くそっ！

耐えろ…

耐えろよ…

ユウナの
顔だからって

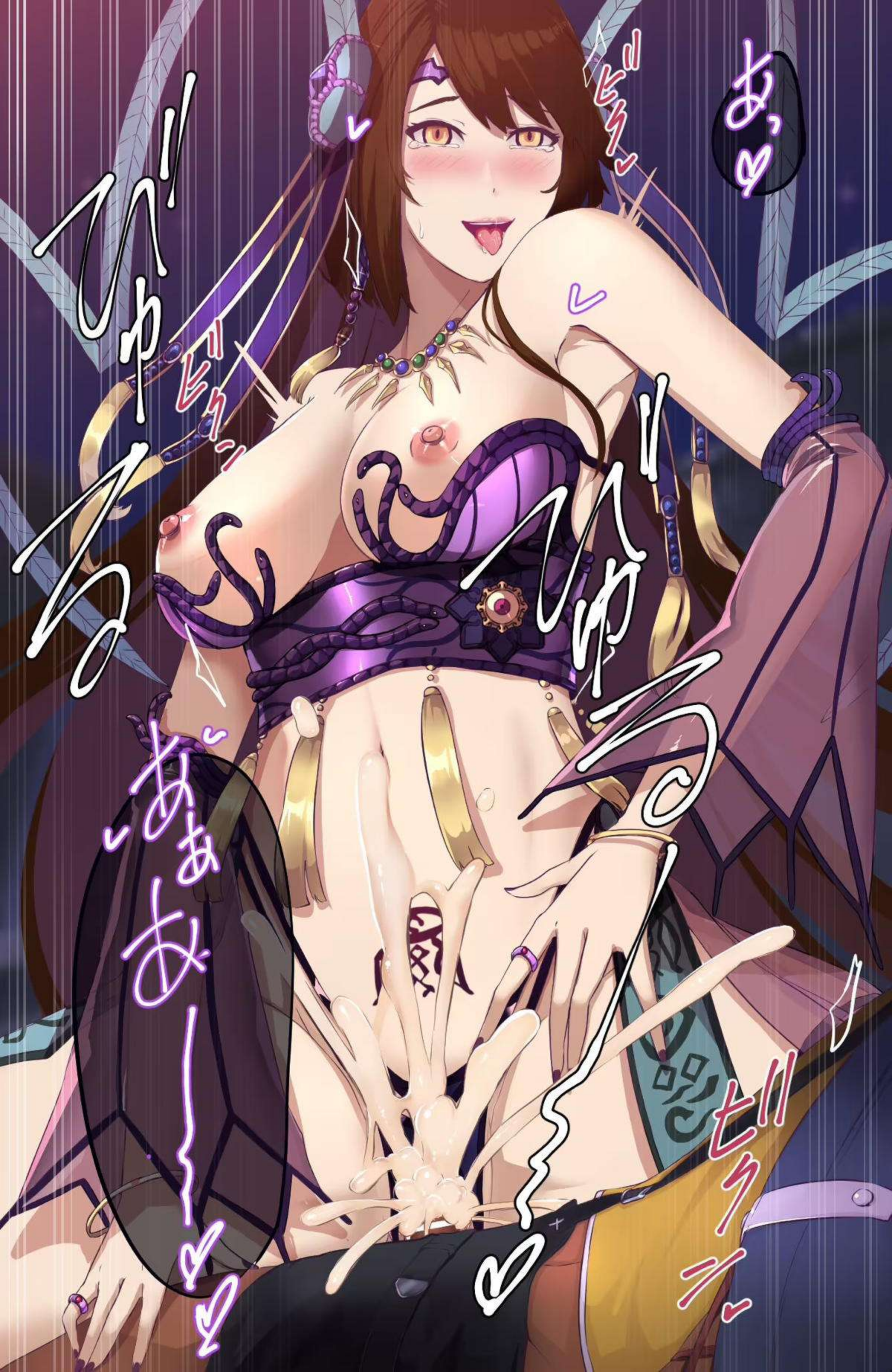
身体
だからって

声だからって

っ、

ユウナ…





あ、あ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

あ、あ

ああ♡

身体が喜びに
震えています♡

感謝いた
しました♡

千年ぶりにあの人を
感じたようです♡

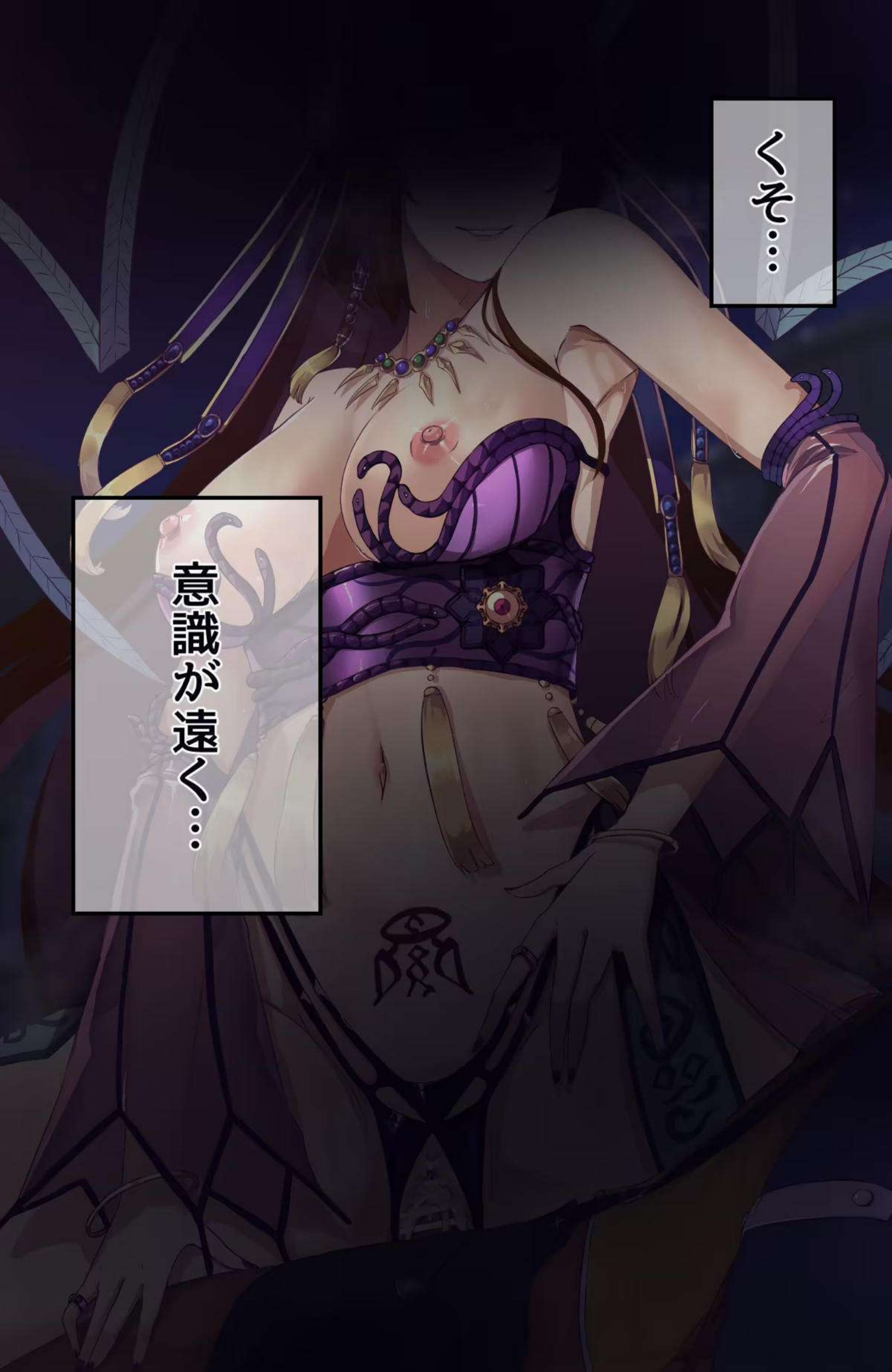


あなたにとって
この身体は
特別であり♡

私にとっても
あなたには特別に
なりました♡

くそ……

意識が遠く……



もう
眠りなさい

あなた達の事は
語り継がれるでしょう

親子二代にわたり
「ミニ」を倒し

ナギ節を作り出した
英雄として…